

2 中山間地域における多様な事業を導入した保全活動

中間農業地域

1

ひとつき ちよう 一ツ木集落協定（鹿児島県さつま町）

- 当地区は、鹿児島県北西部に位置し、標高1,067mの紫尾山のすそ野に広がる地域である。
- 農業者の高齢化、また地域住民の減少により、地域営農や保全活動の存続が危ぶまれる中、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金事業に取り組み、組織と地域が一体となり耕作放棄地が広がらないように保全作業を実施している。
- 農事組合法人「ひとつき」を設立し、農地の集積や農作業の受託を担っているほか、生産した農産物の加工販売までを行う6次産業化の取組も行っている。

【地区概要】

- ・取組面積： 37.2ha（田 34.1ha, 畑 3.1ha）
- ・資源量： 開水路 7km, 農道 10km
- ・主な構成員： 農業者, 自治会, 農事組合法人など
- ・交付金： 約 259万円(R2)
 - 農地維持支払 108万円
 - 資源向上支払 58万円(共同)
 - 資源向上支払 93万円(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 当地区は、主に水稲や飼料作物を栽培している中間農業地帯である。
- 平成16年に完工したほ場整備を機に、各種交付金事業に取り組み、農事組合法人の前身である集落営農組織を設立した。
- 農業者や担い手の減少により、今後の営農や保全作業に係る参加者の確保等に苦慮している。
- 鳥獣被害が増えてきており、今後、電気柵やワイヤーメッシュ柵等の対策が必要となる。



協定農用地



保全作業の様子

取組内容

- 地域農村環境を維持するために、様々な事業に取り組んでいる。
 - (1) 多面的機能支払交付金
 - ・平成26年度から取組開始（前身の農地・水・環境保全向上対策は、平成23年度から取り組んでいた。）
 - ・草刈り等の保全作業や施設補修
 - ・外来種の駆除
 - ・農村コミュニティの強化活動
 - (2) 中山間地域等直接支払交付金
 - ・平成13年度から取組開始
 - ・保全機械の購入
 - ・6次産業化への取組支援（加工施設の整備等）
 - ・地域の子供を対象に収穫体験を実施
 - (3) 農地中間管理機構を活用した農地集積
 - (4) 農地耕作条件改善事業による農道整備



取組の効果

- 地域保全活動のための共同活動が浸透し、地域住民との協力体制が整った。
- 農地の利用集積が進み、約40%を農事組合法人に集積できた。
- 上記により、地域内の耕作放棄地の進行に歯止めをかけることができています。
- 「田の神講」や「収穫感謝祭」など、農村コミュニティの強化活動により、地域住民のつながりがより一層強まった。
- 6次産業化の取り組みにより、農産物加工や消費者との交流が図られ女性の参画が推進できた。



「田の神講」の様子



消費者との交流

本制度の活用事例

- ・ 農業用機械の購入
- ・ 農産物加工施設の整備
- ・ 子供を対象とした収穫体験

きっかけ

ほ場整備を機会として、集落営農組織の体制づくりを図る

Step1 (H11~16)

県営経営体育成 基盤整備事業

- 基盤整備事業による区画整理、集落道及び集落排水路等の整備 (区画整理) 23.1ha

Step2 (H13~)

地域農業の維持対策①

- 中山間地域等直接支払交付金事業に取り組む。
- 同時に農業機械の共同利用を目的とした「集団転作組合」を設立

Step3 (H16~)

集落営農への移行

- 「集団転作組合」を、作業受託を担う「一ツ木営農組合」に再編し、集落営農に取り組む。

地域住民の参加促進を図るため、当交付金を活用した保全作業や、農村コミュニティの強化活動を実施している。

Step4 (H23~)

地域農業の維持対策②

- さらなる農村環境の維持対策のために、「農地・水・保全向上対策事業(向上活動)」に取り組む。

将来に向けて

- 多面的機能支払活動組織や、集落営農組織等を今後も維持していくため、さつま町や関係機関を交えた勉強会を定期的に開催し、体制を強化する。
- 構成員の減少を見越し、農業用機械を計画的に購入・更新し、農村環境を継続的に保全していく。
- 鳥獣被害を未然に防ぐため、今後の対策を協議していく。

今後の展望

Step6 (H26~)

多面的機能支払交付金事業の取り組み

- 多面的機能支払交付金事業への制度移行に伴い、長寿命化だけでなく、農地維持支払及び資源向上支払(共同活動)に取り組む。

Step5 (H24~)

農事組合法人「ひとつき」の設立

- 農事組合法人として法人化し、地域の中心経営体として、農地の集積や農作業の受託、また、生産した農産物の加工、販売を開始。